

## 『朝日町観光振興計画（案）』に係るパブリックコメント結果

朝日町観光振興計画の見直しに向けて、同計画の案についての意見募集（パブリックコメント）を、令和6年3月5日（火）～令和6年3月25日（月）にかけて実施したところ、2名の方からご意見をいただきましたので結果を公表します。

ページ 及び テーマ	意見	意見に対する考え方
52 ページ 第 4 章 観光 振 興 プ ラ ン 基 本 方 針 2 (1) 体験プ ログラムの充 実 ②グリーンツ ーリズムの推 進(農泊・農 業体験)	<p>昨年山形県グリーンツーリズム協議会事務局長鈴木氏が、朝日町に農泊推進地域協議会の設立を要望したが、朝日町は農政局・内閣府から補助金が支給されるにも関わらず、協議会設立の意思はないと事務局長より伺いました。わたくしは同協議会の「農家のお宿の会」の代表を務めている故、非常に残念でした。わが町の基幹産業である農業を観光に結び付けたアグリツーリズムの推進を図らなければ、この町の発展はないものと存じます。(関係人口を増やすにはアグリツーリズムが大切である)。ぜひ去年農泊推進地域に認定された村山市と飯豊町の事例を参考に、農泊推進事業に真剣に取り組んでほしい。</p>	<p>農泊推進地域協議会につきましては、選定基準に「宿泊、食事、体験の3つのサービスを提供できること」や「個人の活動ではなく、多様な構成員で取組を行っていること」というのがありましたので、朝日町の現状では時期尚早と昨年度は判断したところです。</p> <p>P48からの観光振興プランにおいて、地域資源を活用した多様で魅力あるコンテンツの提供の中にグリーン・ツーリズムの推進(農泊・農業体験)を盛り込んでありますので、農泊可能な農家の発掘を行いながら、農家の負担が少なく観光客を受け入れられるよう、利用者のニーズと農家の受け入れをマッチングさせ持続可能な展開が図れる仕組みを構築し、「農業×観光」による地域の活性化を図っていきたいと考えております。</p>
全体について の意見	<p>観光協会の本来あるべき姿が機能していないのではなかろうか？ここが最も問題があると思う。ただ既存の祭りごとを実行し、観光案内・マスコミ対応だけでは、町の商工業・観光業の真の発展はない。</p> <p>旅行業務取扱管理者の有資格者を事務局長として選任し、旅行パッケージの企画を作成し町独自の魅力を発信・販売できる積極的なパフォーマンスが必要である(朝日町 DM0-地域への誇りと愛着を醸造する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりのかじ取り役が必要なのではなかろうか？)</p> <p>以上現在わたくしが、大好きな朝日町が観光で真に振興・発展していこうとするならば、期待している面を具体的に指摘させていただきました。今後ふるさと協力隊の青年達が、卒業後朝日町に永住し廃校の跡地利用・空き家の有効活用・農家レストランや農家民宿の経営・特産品の開発などに取り組むなどの新たな生業を期待し、大いなる町のアグリツーリズム・エコツーリズムの発展を期待し応援致します。</p>	<p>朝日町観光協会は、町の発展と文化振興に貢献する目的で設立され、その趣旨に賛同する町民の方や商工業の事業者、企業等で構成されております。町内には観光事業関係者が少ない中で、「町民みなセールスマン」の発想のもと、観光案内・イベントなどの運営をしております。</p> <p>現在、当町では観光交流3施設運営会社の統合を進めており、令和7年4月に新しい運営会社が設立される予定です。その統合した運営会社では、町全体をつなぐ観光交流、特産品の魅力発信と開発、健康の促進を創造する、地域資源を活かした稼ぐ地域商社を目指すこととしております。その中で、地域商社の役割といたしましては、町内の観光事業者、農業事業者との連携を図り、インバウンドを含め、町全体を売り込み誘客につなげる情報発信と受け入れ態勢の構築、新たな魅力を創造する中心組織の役割を担ってまいります。そして、マーケティングやニーズなどを把握し、関連する事業者と連携しながら着地型の観光、農産物の流通、新たな商品・メニュー開発等の事業を実施し、収益性の向上を図っていきます。</p> <p>今後はこの統合した運営会社が、町独自の魅力を発信・販売の約割を担う中心組織となる予定です。</p>

<p>12 ページ 第 1 章 朝日町の概要 8. 上位・関連計画 (3) 朝日町観光交流 3 施設運営基本構想</p>	<p>自然観の「宿泊機能を活かした自然を満喫できるコテージに特化」とりんご温泉の「老朽化に対応した大規模改修の実施」について。 どちらも 3 社統合してから方向性と優先順位を決めて進めていくべき事案だと思います。 統合もせずにコテージの改修（改修というより大規模リニューアル）だけ先走りすると、統合時にスタッフや町民から不満の声が上がるなど、支障が出るのではありませんか。 また、コテージについてはハコものだけ先行しているように感じます。事業の中身が大切なではありませんか？ランニングコストの試算も明確に示されていません。 どんなに建物が素晴らしくても、その運営がしっかりしていなくては、持続可能な事業になるとは思えません。 これまでの自然観の経営状況を鑑みても、運営し切れるのか疑問に思います。 3 社統合の折には観光事業再生に関する専門家を外部役員に据えるなど、経営陣の刷新も計画に入れるべきと考えます。</p>	<p>(株)朝日自然観、(株)りんごの森、(有)地球耕望の各取締役会において、コテージの再整備計画について説明し、それぞれご意見をいただいているところです。 コテージの再整備計画につきましては、令和 6 年度をもって朝日自然観ホテルの営業が終了することもあり、コテージの管理経費を確保する必要があるため、ホテルに代わって稼ぐことが可能な魅力ある施設の整備に早急に取り組んでいく必要があると考えたことから、令和 6 年度からの 3 か年の計画で整備をしていくものです。コテージの整備にあたっては、現在、維持管理を委任している(株)朝日自然観と協議を行いながら進めており、3 社統合時に施設整備での支障が起きないように配慮してまいります。さらには、魅力あるコテージ村づくりに努め、町民の皆さんからはコテージ村を「町の誇り・宝物」と言っていただけのような、ハード・ソフトづくりを進めていきます。 りんご温泉につきましては、令和 6 年度に躯体調査を実施し、どのような改修が必要なのか検討します。実際の大規模改修等の実施は令和 7 年度以降になりますので、十分に検討しながら進めてまいります。 3 社統合につきましては、現在、統合法人の目指す方向性を策定している段階ですので、頂いたご意見を十分検討して進めてまいります。</p>
<p>27 ページ 第 2 章 観光をとりまく動向 2. 朝日町の観光動向 (3) 主要観光施設の動向</p>	<p>主要観光施設の動向が示されていますが、利用者数や来場者数の推移だけでなく、それぞれの利益の推移を示してください。 利益を意識しない限り、公金の補填を当てにしてしまう運営になるのではありませんか。収益の推移を示さない計画なのであれば、その意識が薄いことが窺えてしまいます。 そのような意識を変えない限り、p37 ページに記してある新たな観光イメージの「持続可能かつ発展性のある観光、高い品質を持った観光地」への道のりは遠いと思います。</p>	<p>主要観光施設の動向といたしまして、Asahi 自然観、りんご温泉、道の駅あさひまち『りんごの森』の動向を掲載しております。運営会社は第 3 セクターの(株)朝日自然観、(有)地球耕望、(株)りんごの森であり、それぞれの会社は利益の確保を最重要課題のひとつとして経営を行なっております。 また、朝日自然観とりんごの森には町から指定管理料が支払われていますが、指定管理料は収益の見込めない公益部門の維持のために支払われているものであり、営業部門につきましては利用料で賄っているところです。 前述の 3 施設は町内の観光で大きな役割をはたす施設として利用者数等を掲載しておりますが、利益まで示すとすると民間の観光事業者との兼ね合い、観光施設同士の競合が生じる可能性があること、一部の施設が成果を上げている一方で他の施設が苦戦している場合は公平性の観点から問題が生じることが考えられるため、利益の掲載は考えておりません。観光振興計画とは、自治体が自地域の観光政策の考え方や方向性を示した計画書であるため、この計画をもとに関係者一丸となって、経済効果だけでなく人との交流などを幅広く捉えつつ、“町のまるごと観光地化”によるエコツーリズムのまちを目指してまいります。</p>

◆問合せ先 〒990-1442 朝日町大字宮宿 1115 番地  
朝日町役場 総合産業課 商工観光係  
TEL : 0237-67-2113 FAX : 0237-67-2117  
Mail : [kanko@town.asahi.yamagata.jp](mailto:kanko@town.asahi.yamagata.jp)